

グリーン社会実現に向けた研究体制の強化

(研究期間：令和5年度～)

グリーン社会実現研究推進本部

本部長
(博士(工学)) 佐々木 隆

事務局
DX研究官 大城 温

事務局
建設専門官 前田 裕太

事務局
研究員 福岡 千陽

(キーワード) 地球温暖化、気候変動、グリーン社会、環境行動計画、横断的研究本部



3.

快適で安心な暮らしを支える研究

1. グリーン社会実現研究推進本部の設置

国土交通省では、2050年カーボンニュートラルの実現、気候危機への対応など、グリーン社会の実現に向け、「国土交通省グリーン社会実現推進本部」を2021年に設置するとともに「国土交通省環境行動計画」を改定し、「脱炭素社会」、「気候変動適応社会」、「自然共生社会」、「循環型社会」の実現に取り組んでいる。

国総研ではこれまで、「気候変動適応研究本部」において適応策を、「環境研究推進本部」において緩和策等を推進してきたが、上記の動きと歩調を合わせ、より俯瞰的に総合力を結集する必要がある。

そのため両本部を統合して、所長を本部長、副所長・研究総務官を副本部長とする「国総研グリーン社会実現研究推進本部」を2023年7月に設置し、全ての部長・センター長が本部員として参画する横断的な研究体制を整備した。

表 国総研の研究分野と「4つの柱」との関係

	住宅・建築	まちづくり・インフラ	人流・物流
脱炭素社会	・吸収源対策・カーボンリサイクル ・インフラ整備における脱炭素化 ・住宅建築物・都市における省エネ等 ・次世代自動車の普及等 ・再生可能エネルギーの導入・利活用		・スマート交通 ・グリーン物流
気候変動適応社会	・自然災害分野の適応策 ・国民生活・都市生活分野の適応策	・水資源・水環境分野の適応策	
自然共生社会		・グリーンインフラ等の活用 ・健全な水循環 ・海の保全・再生	
循環型社会	・既存住宅流通・リフォームの促進	・質を重視する建設リサイクル	

2. グリーン社会実現研究推進本部の活動

グリーン社会実現研究推進本部においては、「国土交通省環境行動計画」に示された環境施策の4つの柱(表)に基づく環境研究を推進するため、これまで役割が明確でなかった企画部を事務局として位置づけ、研究部・センター間の連携・情報共有の強化に取り組むこととした。

3. 環境分野における他の研究機関との交流

(1) 第5回環境研究機関連絡会研究交流セミナー

環境研究に携わる研究機関から構成される「環境研究機関連絡会」が主催する「研究交流セミナー」において、DX研究官が国総研のカーボンニュートラルに貢献する研究について紹介するとともに、他機関との意見交換を行った。

(2) 令和5年度気候変動適応の研究会シンポジウム

気候変動適応法及び計画に基づき、関係研究機関間の連携協力を目的とする「気候変動適応に関する研究機関連絡会議」の活動として開催されたシンポジウムにおいて、水防災システム研究官が「気候変動に向けた「流域内の洪水危険度見える化」の取り組み」について発表を行った。

詳細情報はこちら

- 1) 国総研グリーン社会実現研究推進本部 Web サイト
https://www.nilim.go.jp/japanese/organization/gx_honbu/indexgx.htm
- 2) 第5回環境研究機関連絡会研究交流セミナー
https://kankyorenrakukai.org/seminar_05/
- 3) 令和5年度気候変動適応の研究会シンポジウム
<https://adaptation-platform.nies.go.jp/archive/conference/2023/1221/>